

# 福岡女子大学 同窓会

第91号



# 筑紫海会会報

事務局 福岡女子大学内 TEL・FAX (092) 692-3194  
HP - http://www.fwu.ac.jp/tukusimikai/ または「筑紫海会」で検索



弓道練習(昭和8年)

## 筑紫海会設立90年

### 行事を無事終えることが出来ました

筑紫海会会長 矢野 芙美子(大10国)

5月22日の祝賀会。5月25日の大学との協賛の薪能。それぞれに参加してくださった方々、準備万端整えてくださった方々、本当にありがとうございました。

友と交わる」ということを願って進めたような気がいたします。

りにされた若い人は、きっと大きな勇気ももらい、改めて福岡女子大学に誇りを持たれたに違いありません。

同窓会には会館を持ちたいという夢があります。他に解決しなければならぬ懸案事項もあります。そして、何よりも時代が女性に求めるものが大きく変化しています。

百周年に向かっては自覚的に確かな歩みを始めなければなりません。

尚、この度、多くの御祝儀を頂戴いたしました。この紙面を借り心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



それは想像以上の出逢いであったのではないのでしょうか。薪能に参加してくださった外部の方々、改めて親しみを感じてくださったことでしょうか。

祝賀会における女専卒業生のかたの矍鑠とした美しい生き様、それを目の当たりにしたのが、卒業生

専の先輩方をお迎えできた喜び、女専の先輩方が福岡女子大学の礎を築いて下さった事への感謝。その後、梶山千里理事長・学長より女専から続く福岡女子大学の歴史を讃える祝辞をいただきました。来賓紹介(梶山学長、渡辺浩志副理事長、今井明、野依智子・向井剛・森田健副学長、高山晃事務局長)の後、測上和子(大25食)理事による祝吟(亀井神道流西日本吟詠会)「筑紫海会の90年を祝す」。

乾杯 野依智子副学長、上村元子(大6被・元筑紫海学園理事長)百武美也子(大63)氏3名の音頭。なごやかに会食しながら馬場明子(大20国)理事の司会で女専の方に当時のお話を伺う。多田洋子(専17家)・岡崎ユウ(専22数)・三原久江(専25数)・秋枝

## 平成28年度総会報告&90年祝賀会報告

平成28年5月22日(日)西鉄グランドホテルにて10時30分より開催。開始当初222名の会員の出席があり、総会が成立。

開会のことは、物故者への黙祷に続き、矢野会長より熊本・大分地震に対するお見舞い、来年度の役員改選のための協力依頼があった。

議事 1 平成27年度筑紫海会事業報告

開会。総会終了後休憩をはさみ11時50分より祝賀会開始。来賓7名、女専59名を含め315名の出席があった。開会のことは、会長挨拶では矢野会長が59名もの女

300名を越すまでこの光輝く笑顔と熱気に溢れた90年記念祝賀会は、総会当番冥利に尽きる喜び、感動をもたらしくれました。

実行委員の献身的な奉仕の精神と行動力や団結力になでしこのDNAを再認識してください。

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告

2 平成27年度筑紫海会会費決算報告



祝賀会会場



遠藤喜美子さん(専24生)



遠藤喜美子さん(専24生)

平成29年度  
**筑紫海会総会予告**

日時：平成29年5月28日(日) 11時~15時

場所：西鉄グランドホテル

当番：大学31・32・51・52・63回生

詳細は5月発行の92号をご覧ください。

多くの会員の皆様のご参加をお待ち致しております。

波紋

▼平成28年の広島での出来事は、世界中に大きな感動を与えたに違いありません。4月に広島市で開催されたG7外相会合の際、広島平和記念資料館見学・慰霊碑への献花で終了の日程でした。その時、ケリー米国防務長官の提案で一行は急遽、原爆ドームまで向かいました。ケリー長官は芳名録に「世界中の誰もがこの資料館の力を見て、感じるべきだ」と記帳していただきます。

▼伊勢志摩サミット後の5月27日、オバマ大統領が広島を訪れました。資料館では、出迎えた小中学生2人に大統領自ら折って持ってきた折り鶴2羽を手渡し、さらに直筆の芳名録に添えて2羽をそっと置いたそうです。

▼芳名録には「私たちは戦争の苦しみを経験しました。共に、平和を築く核兵器のない世界を追求する勇気を持ちましょう」とだけ書かれていました。慰霊碑に献花後、オバマ大統領は「広島スピーチ」を行いました。核兵器のない世界を追求することの重要性を訴えたこのスピーチは、歴史に残るものとなりました。

▼最後に、被爆後71年、広島復興のシンボルである市民球団・広島カープの今年の快進撃も歴史に残してほしいと祈っています。

末崎 志津子(大17被) 広島支部

オバマ大統領の折り鶴

# 開学記念式典& 第5回ホームカミングデー

4月17日(日) 大学会館において同窓生138名の参加の下、開学記念式典と第5回ホームカミングデーが開催された。

第一部、開学記念式典では、梶山千里学長より、変



テープカット 左から向井副学長、村上祥子氏、梶山学長

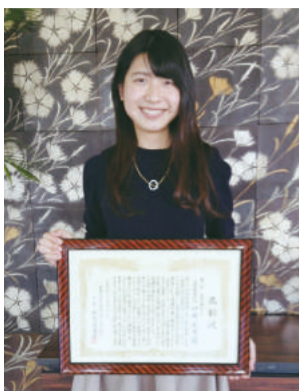
貌を遂げつつある女子大の現状報告。筑紫海会の矢野会長より「後輩を支援する循環型の同窓会をめざす」との挨拶。江島副会長より「同窓会とは何か?」と題するお話し。

記念講演は、「世界遺産に関する最近の動向・国際イコモス副会長として見えてきたこと」と題し、九州大学大学院法学研究院の主任教授、河野俊行氏より、世界遺産の保存を担当しているイコモスのお話があった。

講演の後、第2回筑紫海会賞の授賞式があり、矢野会長より賞状と記念品が国際教養学科の村嶋祐佳さん

## 筑紫海会賞第2回受賞者 「国連の女性の地位委員会に参加して」

国際教養学科4年 村嶋 祐佳



私は1年程前まで「男は外で働いて、女は家庭を守るべき」という先入観の下、将来は専業主婦になりたいと考えていました。しかし、3年生のゼミで秋枝篤子先生について書かれた『後に続く女性たちへ』という本を読み、考えが180度変わりました。同時に過去の私を含めた多くの人が、性別役割分担意識に基づく先入観を持っているこ

とに危機感を覚えました。どうすれば女性が輝ける社会を実現できるか?私にできることは何か? これらのヒントを掴むために、日本B・P・W連合会のインターンとして、ニューヨークで開催される「国連女性の地位委員会」への参加を決定しました。実際に参加して、「女性の地位向上」のために世界中の人々が集まっていることや、参加者一人一人の「世界を変えていこう!」という熱い思いに圧倒され、「意識改革」が重要であると強く感じました。

ここでの学びを多くの方々に伝えるため、機会を頂き、大学の開学記念式典

## 28年度開学記念式典にて 「同窓会とは何か?」

筑紫海会副会長 江島 玲子(大21食)

日本で初めての公立女子専門学校である福岡女子専門学校の1回生卒業の年に、「母校と同窓生のための連結は双方の将来の発展の上でぜひ必要」という発案で、同窓会「筑紫海会」の活動がスタートしました。

女専から女子大学への昇格時には、同窓会もその実現に奔走するなど、常に女専や大学と連携した活動を継続してきました。同窓会は、「絆、和みある組織、地域社会に役立つ存在になるように努力したい」「公立の学校で学ばせてもらった者の社会への恩返しであり、義務でもある」

や北九州の女性フォーラムでお話しさせて頂きました。

という志で、学校法人筑紫海学園とつくしみ山荘の経営という事業を開始、会員が費用を拠出、その運営に当たったことは、特筆すべきことです。

また、同窓生は、卒業後の職業生活や社会生活の中で「女性初の...」というトピックを様々な場面で提供し続け、後輩に対して幾つものロールモデルを示しています。

同窓会とは何か?と問いかけた時、「同窓生であるというたつた一つの共通点は、純粹であるだけに強い絆を持っている。」「研鑽の場であり、友との憩いの場であり、仲間たちへの様々な情報提供の場であり。生涯教育の発信基地であり...」という

機能を持った存在になってほしい。」等々、たくさん筑紫海会の会員は創立90年を迎えた今、13000人余、女性のみ。この小さな同窓会の先輩方が示した強い意志とエネルギーの伝統を絶やさないようにしたい!と考えています。

さらに、女性を取り巻く環境が大きく変化している今、後輩に伝えることとして一人一人がその生き方を示していきたい。そして、同窓会は大学に對しても、地域に對しても可能な限りの協力者でありたいと考えています。

最後に独り言として女子大生え抜きの教授、学長、さらには福岡県知事の姿を将来見たいもの...



環境科学科2年 行武 萌さん

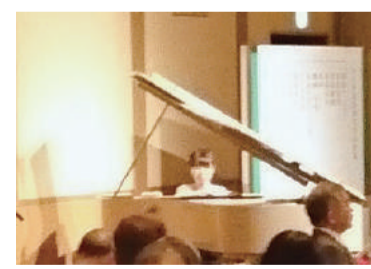
## 祝吟

筑紫海会の九十年を祝す 共に仁愛を崇び 丹誠を尽くす 撫子の学風 美名を齎す 会史迎え来る 卒寿を慶ぶ 女専輩出す 群英に耀く

漢詩 龜谷篤風 吟詠 淵上鈴陽(和子大25食) 龜井神道流 西日本吟詠会



淵上 和子(大25食)さん



環境科学科2年 行武 萌さん

## 福岡女子大学 筑紫海会設立90年 記念

新能 5月25日(水) 学生会館にて

当日は、主催者挨拶の後、本学にも能の指導に見えて、森本哲郎氏による見どころ解説があり、初めての方でも楽しめる工夫がなされた。舞台公演の前に、箒



火入れ式



石橋(しゃっきょう)

火の火入れ式があり、幽玄な雰囲気の中、人間国宝山本東次郎氏をはじめとする方々により、狂言「二人袴」、舞囃子「高砂」、半能(前者にもとても好評でした。

## 第6回 ホームカミングデーのご案内 平成29年4月23日(日)

### 【申込方法】

- 各支部長・クラス委員を通じてご案内いたします。
- 参加希望の方は、支部・クラスを通してお申込み下さい。



# 学び直し大学院プログラム

## 第2期が開講しました

4月23日(土)、文部科学省「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」委託事業である「イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム」第2期が開講しました。

講座は、他者を巻き込み、推進していく力でもあるファシリテーション力を身に着けるモジュール1、デザイン思考・システム思考のアプローチで課題を発見し、解決策を練り上げるモジュール2、受講生自らが持つ課題をイノベーション実践プランとして作り上げるモジュール3の3つのモジュールから成っています。

7月2日にはモジュール1の最終授業を実施。各チームで練り上げたプランをもとに40分のワークショップ(会議演習)を行いました。今後はそれぞれの職場や組織で、モジュール1で学んだファシリテーションの知識、スキルを実践し、ファシリテーター型リーダーとして活躍していきます。

平成29年度春開講に関する募集のお知らせは、来年1月頃にホームページでお知らせしていきます。



秋には場を創る力を養うワークショップデザイン、意見を引き出し、まとめる力を養うファシリテーションの短期集中講座も開講予定です。ぜひホームページ(「福岡 学び直し」で検索)をチェックしてください!  
<http://www.fwu.ac.jp/manabi/>

## 平成28年度 福岡女子大学公開講座のご案内

福岡女子大学では、地域の皆さまの生涯的な学習に貢献するため、毎年、様々な公開講座を企画実施しています。平成28年度に開催する公開講座の受講者を募集しています。お気軽にお申し込みください。内容はホームページをご覧ください。資料をご請求下さい。

【お申込み・お問い合わせ】福岡女子大学地域連携センター  
〒813-8529 福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1  
TEL: 092-661-2728(直通) / 092-661-2411(代表) FAX: 092-692-3220  
E-mail: rcle@fwu.ac.jp URL: <http://www.fwu.ac.jp/collaboration/>

## 福岡女子大学 百周年記念事業

### 事業企画募集のお知らせ

福岡女子大学は2023年(平成35年)に創立100周年を迎えます。現在、100周年を記念した事業の企画について検討しているところですが、卒業生の皆様からも広く御意見・提案を募ることとしました。

お寄せいただいた御意見や提案は今後の参考として活用させていただきますので、お気軽にお知らせください。

【提出先・お問合せ】福岡女子大学百周年記念事業委員会  
事業企画・広報部会  
〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1 福岡女子大学経営企画室内  
TEL 092 (661) 2412 (直通) FAX 092 (661) 2420  
E-mail keiei@fwu.ac.jp

## かすみ祭 10/29(土)・30(日)

模擬店、お茶会、演奏、実験教室、ピンゴ大会  
ミス・ミスターコンテストなどのイベントが予定  
されています



学生時代に戻った気分がかすみ祭を  
楽しませてはいかがでしょう?

同窓会のパネル展示もしています  
新しくなった校舎もご見学下さい

## お茶の会 11/17(木) 12:00~

場所: 福岡女子大学 研究棟1F多目的スペース

軽食を取りながら、大学生と同窓生が  
気軽に語り合う会です



在学生に同窓会を身近に感じて貰おうとの  
趣旨で始めた「お茶の会」は今年で3回目  
になります(無料)

詳しくはHP「筑紫海会」で検索  
参加希望の方は事務局までご連絡を!

TEL・FAX 092(692)3194

## ホストファミリー

年末年始のうち  
1~2泊

女子大の留学生を迎えて  
くださるご家庭を募集します



申し込み方法 10月末日までに①~⑤を記入  
して下記へ申込み

- ① 住所 ② 氏名(卒業回・学部)
- ③ TEL ④ 家族構成(含ペット)
- ⑤ Eメールアドレス(あれば)

申込み先 筑紫海会事務局

FAX 092(692)3194

HP 「筑紫海会」で検索

住所 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

## 国際会議 「活躍する女性と高齢化する社会」

### WWSへの参加ありがとうございました

6月4・5日に、福岡国際会議場にて、第一回WWS国際会議が行われました。AS国際会議が主催し、大学と同窓会筑紫海会も主催団体として参加し盛況に寄与しました。

### 第一回WWS国際会議 概要

北南米、欧州、アフリカ、アジア諸国から専門家や実践者を招き、「高齢社会を、イノベーションにあふれた、明るく活力あるものにしていくための経済」の視点にも立ちながら、グローバル並びにそれぞれの地域における望ましい方策の提案を目指しました。

社会や家庭の担い手として活躍してきた女性たちが、地域で生き生きと暮らしながら歳を重ねていくために、年齢に応じた働き手として、また地域課題の担い手としての期待、家庭を支え続けてきた自身も含め、親・夫らの老後への備えなど、さまざまな論点について市民の方々も交えて考えました。

### 同窓会が企画運営のリレートーク

5日に行われました「ロールモデルによるリレートーク」は、筑紫海会企画運営のイベントとして卒業生

を始め多くの方のご協力のもと、大変有意義な内容となりました。〇とし重ねて、なお輝く、をテーマに、「高齢化する社会でどのように生きるか」は、個人にとつて大切な問題であるだけでなく、社会全体にとつても大きな問題です。このリレートークでは、60代から90代の5人のスピーカーをお迎えし、それぞれの「今まで、そして、これから」をお聞きすることで、その根底に何があるかを知り、多くの皆さんと豊かな人生のヒントを共有したい」という思いで開催されました。



90代: 松尾きよ子さん  
80代: 板倉武子さん  
70代: 古賀久子さん  
70代: 永野美奈子さん  
60代: 馬場明子さん

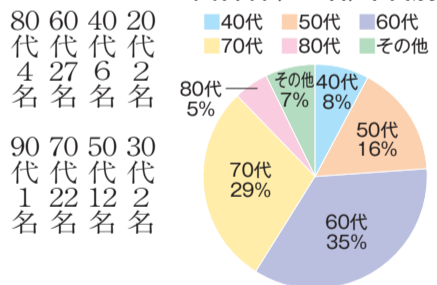
5人の皆さんのお話は歩いてこられた歴史と溢れ、熱くたくましく、私

達に夢と希望と生きる力を与えてくれるものでした。ここに、心からの感謝の気持ちを伝えお礼を申し上げます。感想文の紹介

●20代 とても貴重なお話をただただ大変ためになりました。これから、何か逆境等あった時に思い出し力にしようと思います。●40代 皆さん、とてもいきいきとお若くてびっくりしました。特に、80代、90代の方の頭の回転の速さには敬服致しました。私も見習って生き生きと生きていきたいらいいなと思いました。

●50代 子育て、仕事、もうちよつとで卒業です。この時期に5人の先輩のお話を聞くことができ、とてもよかったです。ありがとうございました。●60代 今年還暦を迎えました。今後の人生にいろいろ迷っているときに本日のトークを聞くことができました。皆さんのメッセージと元気をいただきました。

回答者(76名)年代別



感想文の紹介  
●20代 とても貴重なお話をただただ大変ためになりました。これから、何か逆境等あった時に思い出し力にしようと思います。  
●40代 皆さん、とてもいきいきとお若くてびっくりしました。特に、80代、90代の方の頭の回転の速さには敬服致しました。私も見習って生き生きと生きていきたいらいいなと思いました。  
●50代 子育て、仕事、もうちよつとで卒業です。この時期に5人の先輩のお話を聞くことができ、とてもよかったです。ありがとうございました。  
●60代 今年還暦を迎えました。今後の人生にいろいろ迷っているときに本日のトークを聞くことができました。皆さんのメッセージと元気をいただきました。

# 支部だより



## 同窓の絆は、心の支え

久留米・筑後地区支部長 白石 雅子 (大17食)

はじめに、熊本・大分地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。当支部は、肥沃な筑後平野をなす筑後川流域から熊本・大分の県境までの福岡県南部に居住する同窓生で構成されています。筑紫海会発足からもなく久留米市内の方々を中心に活動が始まり、その後周辺地域に広

が、地震の影響でやむなく中止になりました。改めて10月29日のかすみ祭に合わせ見学ツアーを予定しています。

返信頂いたお葉書の一部を紹介いたします。卒業後50年余、老老介護、認知症、免許証：と他人事ではないことばかりですが、そんな中で筑紫海会の会員であるこ

とは心の大きな支えとなっております。 ◎『この集い絆深めて明日の糧』

長崎支部では平成25年に会則改正を行い支部総会を隔年開催とし、西暦奇数年に総会、偶数年には親睦会を開催しています。 今年は親睦会の年。昨年の支部総会にご臨席いただいた向井副学長の新キャンパス情報がきっかけとなり、百聞は一見に如かずと親睦会は『母校訪問バスツアー』に即、決定。早速、佐賀の三浦支部長と筑紫海会本

久留米市内で開催し、43名の出席があり、役員任期を2年から3年に変更することを決定しました。講演は、馬場明子さん(大20国)に『螢の木が語る戦争の記憶』というテーマでお話いただきました。来賓の向井先生より「戦争への傾斜が囁かれていた昨今の社会情勢に照らし、今一度過去の証言に耳を傾け同窓

先駆的な女性の生き方を示してこられた先輩方、多方面で活躍されている後輩達との交流に勇気と元気をもらっています。

で、参加者それぞれに在学当時の思い出に浸り、楽しい時を過ごしました。思いがけない地震、高速道路の速度規制とハラハラドキドキしましたが、とても充実した親睦会でした。最後に参加者の感想を！ ◎時代に対応できる女性を育成していこうという変わらぬ理念が脈打っていることができて、感激しました。

## 驚きと発見の連続!! 『母校訪問バスツアー』

長崎支部長 深堀 美佐子 (大19食)

部事務局の皆様にお話をいただきながら4月17日(日)の開学記念式典とホームカ

ミングデーに一部参加する計画を立て準備しました。ところが、直前の14日、16日に起きた熊本大地震で長崎でもかつてない大きな揺れを経験。一時は役員全員で中止することも真剣に考えましたが、当日は朝から快晴となり、県内各地より17名の参加がありました。

開学記念式典には途中参加となりましたが、江島玲子副会長の講演と国際イコモス副会長の河野俊行先生の記念公演を拝聴。帰路の都合もあり、お許しをいた

大きく変わった明るい図書館、新設の素敵な美術館、日光と風が心地よい屋上庭園等々。駆け足でしたが、素晴らしいキャンパスの中



だいてほかの参加者の方々より一足早く昼食を頂き、今井副学長直々のご案内でキャンパスを見学しました。

大きく変わった明るい図書館、新設の素敵な美術館、日光と風が心地よい屋上庭園等々。駆け足でしたが、素晴らしいキャンパスの中

お待ちしています!!

## サークル通信 『弓道部』

### 蘇る弓道部での青春

恒吉 佳久子 (大12食)

昔語りになりますが、弓道部誕生秘話を紹介したいと思います。弓道部の前身は、福岡女専での体育の必修科目に由来します。私が入学した昭和36年時も体育の選択科目の中にありました。しかし指導教官の室井教授の退官が迫り、存続の危機を迎えていました。そういう背景の中、弓道同好会で当時ただ一人の有段者だった三年生の川越(旧姓栗山 大10食)さんの並々ならぬ尽力のもと福岡女子大学弓道部は生まれました。55年前のことで

活動予算も少なく、満足に弓を引けない部員をかかえて川越主将の卒業間際までの大奮闘ぶりは語り尽くせません。高校時代から弓を引いていた私も、彼女に導かれて弓道に魅せられた学生生活を過ごすことになりました。東公園の武徳殿へ向いての練習、成果の出ない試合の連続、志賀島での合宿、昇段試験(私自身は二段取得)、部員全員のアルバイト資金で学内に矢場を



機関誌「つるやすめ」

刊号が発行されました。現在、部員21名(留学生5名)、顧問教官にスウェン・ホルスト准教授を擁して世界に伸びる活動が続いていることを嬉しく思います。

道場はおろか練習場もなく、コーチもなく、



作ったこと、創部3年目のインカレ・九州大会でついに3位入賞を果たしたこと等々、二年間主将を務めて新しい部の悲哀と目標に立ち向かった日々は振り返るとまさに青春万歳の想いで

## 伝統ある弓道部を受け継いで…

環境科学科3年 山中 亜麻美

私たち弓道部は、学部生16人、留学生5人、そして顧問の先生とで週に3回楽しく活動しています。弓道は日本の武道の1つであり、定められた距離にある的を、和弓を用いて射る競技です。これは“八節”といわれる一連の動作によって行われるのですが、私たちはこの動作を通して心身の鍛錬を目指します。弓道の技術向上はもちろんのこと、的を自分の心と見立てて自分自身と向き合うことができるのも1つの魅力だと感じております。

顧問の先生は、11年程前から東体育館の古賀健治先生に来ていただいております。私を含めた半分以上の部員は大学から弓道を始め、古賀先生に和弓の美しさから、1つ1つの動作の意味まで指導をいただき、弓道の楽しさを知りました。

主な年間行事は、春・夏季にある昇段審査と北部リーグを始めとした試合や大会への出場のほか、成人を迎え段位を有する



部員のみ、京都の三十三間堂で開かれる全国的大大会に出場しています。

弓道部は私たちの代で第55代目になります。歴史ある部活動ということを十分に自覚し、今後とも真摯に練習に取り組んで参ります。

# 音楽と共に歩いた道、 こころざしは高く

声楽家  
元聖学院大学教授  
遠藤 喜美子 さん(女専24生)



筑紫海会創立90年祝賀会の折、校歌斉唱をリードなさった方を覚えておいでの方も多いのではないだろうか。美しく張りのある遠藤さんの歌声は、会場に響き渡り、校歌斉唱をさらにパワーアップさせたように感じられた。

遠藤さんは、女専卒業後、国立音楽大学声楽科を卒業、東京芸術大学大学院音楽教育研究(音楽教育・民族音楽)を修了。盛岡大学教授・同大学附属幼稚園園長、聖学院大学教授・同大学児童学科長を歴任された後、平成14年3月、75歳で退官。現在は、お住まいの国立市で地域の役に立ちたいと、文化活動・社会活動等を声楽家・音楽療法士として続けておられる。

幼い頃は、現在の日銀福岡支店の辺りがお住まいだったそうだ。大名小学校、九州高等女学校を経て女専生活科へ入学。家政学を学ばれた。在学中は、あの4年制大学への昇格運動の只中。高崎会長はじめ城野さんや同窓会の皆様と一緒に、学生代表として尽力さ

れたという。

卒業後、九州高等女学校の教頭であった中村ハル先生(現在の中村学園大学創始者)の教室で片腕として働く。女学校を出たら結婚が当たり前の時代。ある日、先生から職業を続ける為ま

たといお相手との見合いのお話が。だが、音楽の道に進みたいと打ち明けた。先生は即座に「明日から来なくてよい。その代わり、東京で必ず一旗揚げなさい。」とおっしゃった。即断された先生の言葉に、声楽をめざす志が固まった。

女専在学中から、音楽科の安田ヤス先生には、特別にレッスンを受けていた。そして、昭和24年、西部(九州地区)で初めて開催された「第3回全日本学生音楽コンクール声楽部門」に、女専の推薦、安田先生の伴奏で出場。だが落選。ところが、審査員から才能を認められ、東京へ出て勉強をするよう勧められる。

その頃から、ピアノも安永武一郎先生(ベルリン響・安永徹氏の父君。後に福岡教育大学長)に師事。東京音楽学校(現・東京芸術大学)受験をめざす。芸大の先生方のレッスンは最高レベルだが高額、お金に羽が生えたように飛んでいく。

いよいよ受験の昭和26年。芸大は受験年齢を25歳までと制限した。やむなく

受験を断念。福岡に戻ってあてもなく過ごすうち、市教委に、当仁小学校の音楽専科教師として迎えられ、4年間勤務する。夢をあきらめたわけではない。家族にも反対された道だが声楽の勉強は続けた。東京へレッスンにも通う。だれにも頼ってはいられない。

そんな時、国立音楽大学の編入試験があった。合格。同時に啓明学園へ就職、夢と自立の道が開けた。

この時代に大きな出会いがあった。晩年の山田耕筰先生に特別指導を受けたことだ。当時の音楽大学には、日本歌曲の指導者は無かった。遠藤さんは山田耕筰先生に手紙を書いて弟子となり、周囲の方々からは羨望の的だったという。先生は「きれいな日本語で美しく日本の歌曲が歌えるように精進しなさい」とおっしゃった。「今、最高点をあげられるのは美空ひばり。」とも。その名を周囲のだけ一人知らない時だった。

その後、ご夫君の転勤に伴って家族4人で盛岡へ。盛岡大学の助教時代、あの芸大大学院で私学研修員として、民俗音楽の小泉文夫教授にアジアの音楽について学んだ。盛岡大学の学生を対象に調査し、「アジア地域民俗音楽の理解に関する問題点とその教育的可能性」と題して、アジアの民族音楽の特性や重要性についての論文を作成。この論文をもって昭和62年度国際協力学術奨励論文募集に応募。第2席の荣誉に輝く。

また、平成14年には、『鳳仙花―評伝・洪蘭坡』を上梓。洪蘭坡は、朝鮮近代音楽の父と称されるが、日本では知られていない人物。その生涯について、克明に調査した労作と高く評価され、平成25年には再刊された。この年、韓国でTVに招かれ、韓国歌曲を独唱。韓国の新聞「ひと欄」に詩人李承信と共に紹介された。今は、韓国の人にこの本の存在を知ってもらいたいと思っておいでだ。日韓友好の為に一日も早い韓国語への翻訳が待たれる。



# ようこそ 浄水通りのフイエルテミナへ

経営者  
デザイナー  
藤田 美奈子 さん(大26被)



Hiertenna(フイエルテミナ)。地下鉄薬院大通り駅からすぐの浄水通りにその店はある。フイエルテは仏語で「誇り」、女性に自信を持つて服を着てほしいという思いから名付けた。お話を伺っていると、早速お客様が見えた。以前に作ったスーツのお直しの依頼だった。その場でスーツを着用してもらい、着心地・バランスの確認。その後、様々な角度からお話を聞きデザインに生かす。和やかな雰囲気注文が出来る様子を因らざるも拝見した。

藤田さんは、大学卒業後、文化服装学院に入学。夢であつたファッションデザイナーになるための勉強をしながら、様々な経験を積んだ。学生によるファッションショーをマレーシアとシンガポールで開催。今と違い海外での貴重な経験は、その後の仕事に大きな力となった。

既製服デザイナーや文化服装学院の恩師小池千枝先生の秘書を経て、結婚。20年前、夫の仕事が福岡に移ったのを機に福岡玉屋のオーダーメイドに就職。その後、岩田屋に移り順調だったが、時代の波に押されての閉業に伴いやむなく退職。同時に多くの縫製職人が退職を余儀なくされた。高度な技術を持つ縫製職人さんたち。残念で仕方なかった。

退職を機に、福岡県女性研修の翼に応募し、ドイツの女性起業家支援施設を見学するチャンスを得た。そこには、女性の起業支援への手立てと、自立へと導くシステムが確立され、目から鱗が落ちるようだった。その後、福岡で女性起業家を支援する一般社団法人『女性起業家スプラウト』の存在を知り入会、活動中である。他に、福岡市男女



# 社会人一年生です

留学と研究の日々を糧に

百武 美也子 さん(大63国際)

2012年4月、国際文学部の第2期生として入学し、1年間の交換留学を経て、今春、社会人としての一歩を踏み出しました。多くの素晴らしい出会いと

貴重な経験に恵まれた4年間は、私の宝物です。大学では、いつも興味深い話で知的・学術的好奇心を刺激してくださった先生方のおかげで、学問の楽しさを知りました。あらゆる分野の講義に出席して知見を広め、様々な出来事について自分の意見をしっかりと持つことの大切さを学びました。

留学先ベルギーでの学び舎 Katholieke Universiteit Leuven ではシエイクスピア作品に魅了され、『マクベス』に関する論文を執筆しました。図書館で文献を

読み、作品を通して登場人物やその著者、批評家たちと対話を重ね、様々な意見に賛同・反論しながら自分の解釈を深めていく時間は、とても有意義なものでした。また、大学ではWJICの学生や多くの留学生と知り合い、国際交流にも関心を持つようになりました。一緒に山笠を見に行つて博多の文化を間近に体験し、時には家族の一員として自宅に招き、日本の家庭料理を味わうこともありました。交換留学中は、国際寮で欧米各国から来た留学生と生活しました。異なる背景を持つ学友と日常を共にすることで、多様な価値観に触れながら類似点・相違点を互いに認め、言葉や文化の壁を越えてより親しくな

卒業式、思い出の研究棟で

